

兵庫労山

No.411

2014年4月号



今年も横浜から参加されたみろく山の会の皆さん

石筍「予測が大切」	藤原 昭	2
行事案内		3
50期 常任理事会報告	宇都宮孝美・他	4
岩場でのセルフレスキュー講習会のお知らせ	救助隊	5
登山学校 2014 夏 募集要項変更のお知らせ	登山学校 2014 夏	6
「第6回女性のための山登り講座」を終えて	加納公子	7
3月度HCカメラ03例会	今泉勝次	8
武庫川清掃&ゴミ一掃運動のご案内	自然保護委員会	9
第1回近畿の山での放射線量測定登山実施報告	黒田雅雄	10
ラジオ天気図を描く「はじめてのあなたにも描けた!!」	気象教育部	11
六甲全山縦走を終えて	長谷川 裕	13
兵庫労山の仲間「摩耶山友会とはこんな会」	内村之衛	14
4月の花エッセー「馬酔木」馬の酔い心地は・・・アセビ	福島和美	15
閲覧室	大村富栄	16
編集後記	機関誌部	17



予測が大切

常任理事（気象教育部） 藤原 昭

私達は無事故で安全な登山をする為に日々色々な勉強をしています。しかし、事故が無くなることはありません。

事故の殆どは「予測していない突然」が起る為に発生しています。予め予測しておれば「突然起こる事」は無くなります。従って事故が起こることが無くなります。

予測する能力を高めることこそ、事故撲滅の基本です。

突然の天気急変で遭難者が多数出るとは珍しくありません。しかし、予測をして居れば突然ではなく「予想範囲内」なので余裕を持って、しかも早目に対応策が頭に入ってきます。寒くなることが分かっているときは、防寒具をザックの上部に移して置く、手袋をする、早目に下山する等々。

でも、いきなり天気の予測は出来ません。「週間予報ではこうだった」だけの知識では、パーティの行動変更を提案できるような説得力がありません。

先ずは自分自身の予測能力を高めることが大切です。一人だけが高めてもパーティ全員の意思にはなりにくいので、全員の知識向上が必要です。誰もが気象の勉強をすることで「予測しない突然」を無くしていける。

そんな思いで気象教育部では、各種気象講座を開設し、運用しています。

リーダーの責任は重い。でも参加するパーティの中に数人でも、いや1人でも「お客様」が居たらそのパーティの行動に一体感が薄れ、事故発生の下地が出来てしまいます。気象の知識だけに限らず、地図読みの知識、凍傷の知識、など「知っておれば起こらなかった事故」は絶対に起こさないようにしましょう。



表紙画像

「横浜市からはるばる参加された「みろく山の会」（新スポーツ連盟所属）は、会員 780 名、平均年齢 67 歳、ちょうど明昭山の会と同じくらいの大規模な会です。昨年の 19 名に続き、今回も 14 名が参加されました。昨年もそうでしたが、きちんとトレーニングをつんで全員がそろって完走という成果に同会の充実ぶりがうかがえます。来年もぜひどうぞ！」

文責 原水章行（西宮明昭山の会）

撮影 野津秋雄（山の会かじか）

兵庫労山行事案内

事務局

- 機関誌部 発行 4/1
部会 4/3 (木) 18:00 阪急岡本駅南口
- 常任理事会 4/8 (火) 4/22(火)
- 「登山学校 2014 夏」定員 6 名
開校式 4/17 「神戸市勤労会館」19:00
「机上」 5/8 5/22 6/5 6/19 7/10
7/24 8/7 8/28
「実技」 5/10 5/17 5/31~6/1 6/28
7/26~27 8/23~24 9/6~7 9/27
10/10~13 (修了山行) 募集〆切 3/28
(詳細は 2 月号)
- 「中級登山学校 2014 夏」定員 10 名
開校式 4/14 「神戸市勤労会館」19:00
「机上」 5/12 5/26 6/9 6/23 7/28
8/21 9/1 (連盟事務所 19:00)
「実技」 4/20 5/11 5/25 6/8 6/21
7/6 7/26 8/31 9/7 9/13~16
10/4 10/5 10/18~19(修了山行)
募集定員 10 名 募集〆切 3/31
(詳細は 2 月号)

自然保護委員会

- 清掃ハイク 4/13(日) 6/1(日) 9/7(日)

女性委員会

- 4 月 10 日 (木) 委員会会場検討中

障がい者ハイキング委員会

- 4 月例会 4/16(水) 有馬富士
集合 J R 三ノ中央口 9 時
4/29 交流バスハイク
岡山へ行きます
- 5 月例会 5/18(日) 丹生山
集合 J R 三ノ宮駅中央口 9 時
- 6 月例会 6/18(水) 摩耶山
- 7 月例会 7/11(金) 平和行進に参加
9/13 日~15 日 東北の山
申し込み先: 中井 078-741-1149
大野 078-709-0024
今泉 078-784-1108

救助隊

- 「2014」近畿ブロック搬出技術講習会
4/6(日) 大津市比良元気村
J R 湖西線北小松駅徒歩 15 分
○ハイキングコース 受付 9:00
○岩・尾根・岩セルフレスキューコース
受付 7:30
(詳細は 3 月号)
- 「岩場でのセルフレスキュー講習会」
5/31(土) 神戸登山研修所
集合 9 時 00 分 申込み〆切 5/15
(詳細は別掲)

教育委員会

- 無線教育部 ○無線運用講座開講
「机上講座」 3/24 (月) 19:00~
3/31 (月) 19:00~
「無線従事者の集い」
4/19 (土) 19:00~
- 気象教育部
○気象講座
4/23 5/14 5/24 6/4 6/11
6/25 7/9 7/23 8/20 9/3
9/17 (神戸市勤労会館 19:00~)
9/27~28 総合講座(一泊二日)
(神戸市立自然の家)
申込〆切 4/15(詳細は 3 月号)
- ハイキング教育部
○第 5 回地区・コンパス講座
「座学」 4/5 (土) 西宮勤労会館 13:00
「実技」
4/13(日) 4/20(日) 4/26(土)~
27(日)募集人員 20 名
(詳細は 12 月号)

第 5 1 回定期総会

6/8(日)

【葺合文化センター】

阪急「春日野道駅」下車 徒歩 7 分
神戸市営地下鉄「新神戸駅」徒歩 8 分

常任理事会報告

第50期—13回

2月25日 出席17名 欠席5名

報告者 宇都宮 孝美

登攀教育部長岡部長から「雪上技術講習会」中止の説明がありました。応募者が5名、内2名がキャンセル。日程が悪かったのか、要求がないのか

★討議事項

全国総会第31回出席報告 出席者6名

- ・前理事長が退任、新体制
- ・個人会員161名 兵庫12名 2/15日現在 兵庫は当面様子見
現行のまま進める
- ・新特別基金の規定と細則の改定

★冬山登山学校

冬山登山学校凍傷事故の報告が門脇さんからありました。

事故の要因、問題点・反省点、教訓等(別紙資料)、他の理事から2点の質問、2つ班分け方・下山時の判断について指摘の件を実行委員会に報告する。

★第3回初級登山学校 実行委員会の報告

募集人数10名から6名へ削減を承認

★安全対策委員会・気象教育部主催「山の気象を考える」

申し込み 25日現在85名

★次回の議題 第51回定期総会議案書について

第50期—14回

3月11日 出席19名 欠席3名

報告者 黒田 雅雄

★討議事項 県連総会議案書作成日程

- ・総会まで常任理事会5回 5/10(土)議案書討議常任理事会開催
- ・議案書 2013年の登山や労山の状況 2014年活動方針素案 3/25に提示(担当 門脇理事長)
- ・各専門部議案書案 4/8か4/22に提出 5/10の議案書討議をふまえ 5/13議案書確定させる。
- ・兵庫労山創立50周年 2016年に会員数3000人を目標に対する状況と今後の対策
- ・労山活動を継承発展させるための後継者の育成、兵庫県連所属会の状況と県連との連携

★報告事項

3/9(日)六甲全山縦走 申込1144名 出走者1003名 完走者828名 事故等なく無事終了

救助隊主催

岩場でのセルフレスキュー講習会のお知らせ

日頃、救助隊の活動に参加していただきまして有難うございます。
今回は岩登りをしている時にパートナーが滑落して動けなくなった時のセルフレスキューの方法を学びます。多くの人の参加をお願いします。

【日時】 5月31日(土)

【場所】 神戸登山研修所 9時集合 (阪急王子公園駅東口北へ徒歩5分)

【内容】 ロープの結束、仮固定、自己脱出、懸垂下降からの登り返し、その他

【装備】 ハーネス、ヘルメット、確保器、カラビナ、スリング、手袋等

(ロープは救助隊で準備します)

*申し込み・問い合わせ

大石貴子(神戸労山) PCアドレス takako@silk.ocn.ne.jp

申し込み締め切り 5月15日

会単位で申し込んでください。氏名、本人連絡先、所属会留守宅本部をお知らせください。

救助隊今後の活動予定

7月12日(土) 沢運搬訓練 「西山谷」

9月7日(日) チームレスキュー 「百丈岩」

2月1日(土)～2日(日) 雪上運搬訓練 「比良山」

*場所は予定です

自然保護委員会開催日

- ・開催日 4月3日(木) 5月15日(木)
- ・近畿ブロック自然保護担当者会議 4月5日(土) 10:00～(大阪労山事務所)
- ・兵庫の山からゴミ一掃指定日 4月13日(日) 6月1日(日) 9月7日(日)
- ・東お多福山草原保全再生事業ササ刈り
4月9日(木)
東お多福登山口 9:30集合
現地 10:00
- ・武庫川清掃ハイキング道整備(草刈り武庫川集会)
6月1日(日)
JR西宮名塩 9:00 集合 12:00



登山学校 2014 夏 募集要項変更のお知らせ

兵庫労山メーリング(3/11)ではお知らせしましたが登山学校 2014 夏（岩縦走リーダー養成コース）の内容を一部変更いたしました。

背景はこれまでの初級登山学校については、その目的が十分理解されていなかった事もあり、登山学校に対する受け止め方に大きな差がありました。それが学校運営上に若干の支障を生じていました。その為、学校の目的を明確にするため、学校の名称を「登山学校 2014 夏（岩縦走リーダー養成コース）」と改称しました。

また、今年度の冬山登山学校で生じた凍傷事故の教訓から、この学校においても安全対策上、講師・スタッフの体制強化及び受講生の受講資格の確認などが課題です。

そのため、『兵庫労山』2月号で実施要項を公表しましたが、その内容を安全対策上再検討し、以下の通り変更いたしました。

併せて趣旨をご理解の上、体制強化のため多くの会からの講師派遣協力をお願いします。講師資格については暫定ですが以下の様に定めました。

特に受講生を送り出す会に於かれましては受講生の成長状況を知っていただく為にも講師派遣をお願いします。

（実施要項変更点）

- ① 受講生定数を10名⇒6名とする。（多ければ選考、満たない場合は中止も検討）
- ② 修了山行は、講師スタッフ体制と受講生の力量も考慮して今後決定する。
- ③ 実技の行先などは、上記の理由により、変更もありうる。
- ④ 実技講座 6月1日は、早朝にテント撤収後、武庫川・統一行動に参加する。
- ⑤ 受講生の所属会については、受講資格を開校式前までにクリアするよう指導をお願いします。
- ⑥ 講師については、以下の基準で、受講生を送り出す会に派遣のご協力をお願いします。

派遣講師などの目安（暫定基準）について

岩・・・岩IV級のリードが出来ること。

沢・・・沢2級のリードが出来ること。

岩稜・・・リーダーの経験があること。

体力面・・・男25Kg、女20Kg程度のボッカが出来る事。

以上、宜しくお願いします。

詳細は、登山学校 2014 夏事務局 Eメール/hwaf_school_staff@yahoogroups.jp までお問合せ下さい。



『第6回女性のための山登り教室を終えて』

加納 公子



今年は、新聞社に1社しか載らなかったせいか、受講生が7名（新聞で3名。好日のチラシで2名、兵庫労山のネットで1名）でした。2人の現・旧労山会員を除いては、殆ど山の経験がなく屋内講習の内容は新鮮だったようです。山行も、『まず歩けるのか…、講座で習った装備をどれだけ用意するのか…』ドキドキでの集合でした。実技は、3人に6人のスタッフ

で、手取り足取りで、コンパスの使い方もすぐマスター？出来、疲れを感じる間もなかったようです。修了山行は、長い距離で心配していましたが、岩稜歩きから始まり、コンパスも使い、武庫川のトンネルに感動し楽しんで終了しました。これからも山に行きたいそうです。どの会が合っているのか探しています。どうか、問合せをしましたら、快く山行に参加させていただくことをお願いします！

3月8日（土）「地図&コンパス」実技

竹田 捷子

阪急逆瀬川駅＝西山団地バス停～東観峰～行者山～岩倉山反射板～岩倉山～生瀬駅

晴れて風もなく天気にも恵まれました。座学で勉強した磁石の合わせ方と遠くの目標物の磁石の合わせ方を徹底的に練習しました。地形の見方や現在地確認のための周囲の目標物の発見、送電線や建物など人工物などの取り入れの習得の仕方を勉強しました。山行経験の少ない受講生にとって、コンパスの使い方を学ぶのが必至で、歩けるかの不安も吹っ飛びコンパスの使い方がマスター？出来て楽しめた山行になりました。



受講生3人 スタッフ6人

3月16日（日）修了山行 中山～大峰山

玉木 真智子

阪急山本 9:00 集合—9:20 出発—12:00 中山最高峰（昼食）12:30 出発—14:22 大峰山—16:00 武田尾 16:20 解散）

晴れの暑い日差しを浴びながらの出発。受講生が、初めての岩場で恐怖感あり、へっぴり腰だったが、少し慣れて楽しく歩く。地図とコンパスで方向を確認しながら交代で、受講生が先頭を歩く。磁石の扱いも3月8日の実技で習得しスムーズであった。距離が長く山を歩いた実感があったようだ。中山からの下りから、以前悪くした膝を痛めストックを使いながら歩いた受講生もいたが、予定通りの時間に無事下山。今回は、受講生は少なく目が届き、コミュニケーションがとれました。今後、受講生が各会に入会する等、労山との係わりを持って山を続けて欲しいと思います。アクシデントを考えるとスタッフの人数が少なかった。



受講生4人 スタッフ3人

3月度HCカメO3例会（塩屋から須磨アルプスへ）

【開催日】 3月9日（日）快晴

【参加者】 カメ 今泉 山本（夫妻） 佐々木 岩崎

サポート 中井（CL・摩耶山友会）国光（みなと労山）川井（神戸中央山の会）大野（神戸カタツムリの会）東山（淡路労山）鹿本（西宮山岳会）大村
神谷（神戸ハム&HC）辛島（山歩溪）

【コース】 JR塩屋駅 9:00→毘沙門天寺
9:25（ストレッチ・他）→
ドレミファ噴水パレス 10:00
横尾山 13:00→板宿への下り
展望台付近 14:35→登山口八幡神社着 15:00（ストレッチ）



横尾山にて

梅の花も匂えたり、午後からは暖かくなり、気持ちのいいハイキングでした。カメさんも5名も参加して良かったと思いました。
今泉勝次



伝言板

バスハイクのお誘い

山 域 若狭「野坂岳（913.5m）・新緑の山便り」

主 催 神戸ハム&ハイキングクラブ 担当 大村富栄

日 時 5月11日（日）集合場所 代々木ゼミナール向かい 7:00
（雨天中止）

費 用 5,000円

コース 北陸分岐道→野坂岳登山口→（トイレ完備）→三方温泉（予定）
→神戸（帰神予定 20:00前）

※ファミリー向け変化に富んだ〇が一つのコースです。お一人からでも
気軽にお申込みくださいませ。

大村富栄 090-6057-0472 jo3urg@ac.auone-net.jp

<原稿をお寄せ下さい>

この伝言板では、各会の行事等、例えば〇〇周年記念行事や交流バスハイクへのお誘い等、各会でお持ちの種々の情報を提供していただくことで、加盟団体相互の交流の一助としたいと思います。メール等で県連盟機関誌部員まで原稿をお寄せ下さい。なお、文字数は最大400字程度、内容を編集する場合があります。原稿をお待ちしています。

武庫川清掃&ゴミ一掃運動のご案内

自然保護委員会

『武庫川溪谷廃線跡ハイキング道』の利用について、JR西日本への開放要請、行政への管理移管の働きかけ等を行っています。しかし、利用者である我々は、都会に近くて市民にも親しまれている武庫川溪谷廃線跡ハイキング道を残すためにも、出来ることをやって行きたいと思えます。今年度の武庫川清掃は、昨年を引き続いて『兵庫の山からゴミを一掃する運動』と並行しつつ、下記の通りハイキング道の維持・保全作業として取り組みます。今年は草刈り作業を中心に行う予定です。草刈り清掃作業後武庫川集会を行います。各会からのご参加ご協力をお願い致します。

記

1. 実施日時 2014年6月1日(日)9時~12時 兵庫のゴミ一掃運動との並列実施
2. 集合場所 JR西宮名塩9:00集合 (今年からJR武田尾側での集合はありません)
3. 作業要領
 - (1) 担当区域を分けハイキング道の草刈りと清掃活動を行う
 - (2) 長尾山第1トンネル北出口付近にジャリを運搬ハイキング道整備を行う。
 - (3) 草刈鎌等の道具はいくらかは準備しますができるだけ各自で持参ください。
4. 集会場所 武庫川集会は今までの実施場所は樹木が茂り手狭になりましたので、11時30分より親水広場(桜の園入口)下の河原で行います。
5. 集会内容 武庫川溪谷廃線跡ハイキング道を守る運動の経過および活動状況報告 (JR及び西宮市の対応状況、ハイキング道訪問者に対するアンケート実施内容、ハイキング道訪問者数調査内容)
6. 安全その他注意事項
 - (1) 兵庫の山からゴミ一掃運動と並列行事にするかどうかは、各会に一任致します。
 - (2) 廃線跡整備中に拾ったゴミは各会で燃えるゴミと不燃物(カン・ビン等)に分けて、前年同様の場所(武田尾駅下流約600m地点)まで持って行って下さい。
 - (3) 各会で責任者を決め、集合場所で受付に参加人数を届け出てください。
 - (4) 各会の参加者への行動の指示、安全上の管理は各会責任者が行って下さい。
 - (5) 参加者は必ずヘッドランプを持参し、必要あればゼッケン腕章等を準備下さい。



ハイキング道の草が伸びた状況写真

第1回近畿の山での放射線量測定登山実施報告

2013年度近畿ブロック自然保護担当者会議議長 黒田雅雄

2013年11月開催の全国自然保護者会議で浦添委員長からの要請で近畿の山での通常時の放射線量測定の依頼を受けました。近畿の水がめ琵琶湖を有し、福井県若狭湾に点在する原子力発電所に隣接する近畿の山で通常時の放射線量を測定しておくことは意味あることだと思います。2014年1月開催の近畿ブロック自然保護担当者会議で3月15日(土)



(上画像は浦添理事長よりの説明)

京都大文字山で第1回近畿の山での放射線量測定登山実施を決め、登山道の放射線量測定プロジェクトの浦添理事長に來京を依頼、測定の意義や測定方法の指導を受けて、兵庫労山から9名(うち福島での測定経験者5名)、近畿ブロックからの参加者を合わせて総勢25名、放射線量計4台で放射線量測定を行い参加者全員が測定経験をしました。



(最初の計測ポイント 永福寺入口 11:00)



大文字山 火床中央部

今後近畿ブロック自然保護担当者会議で、日程を決めて随時近畿の山で放射線量測定登山を継続して行う予定であります。(近畿ブロックで全国から放射線量計1台を継続して借用しています。)

2014年3月15日(土)
JR山科駅10:00集合

ラジオ天気図を描く

3/15・16



はじめてのあなたにも描けた！！

(報告者) 県連気象教育部

講座目的は以前同様「等圧線が描ける様に。」であるが、これまではテキストに準じて天気図への記入方法から等圧線の描き方までを一気に説明し、直ちにラジオ放送〈録音〉からひたすら書き取り、描いて

貰った。上達に枚数を重ねることも大事であるが、多くの受講生は例えば北や北東はピンと来ても北北東や東北東に戸惑い迷う、すると風力や肝心の気圧も書き取れず、そこで躓き？二日間の講座は書きとり訓練と化して、とても等圧線を描くまでに至らなかった？と反省。

今回はテキストで「各地の天気」で何を放送するかをまず説明、次に講師井手口が慈悲深くゆっくり大阪まで読み上げる。

この間、講師・スタッフは自分が担当する数名の受講生につきっきりで適宜横から口を出す。(写真右) 当然ながら全員が書き取れた。その後は放送録音で「各地の天気」を全て流して書き取り。再びテキストに戻って「船舶からの報告」「漁業気象」の聞き方、書き方を説明し井手口が読み上げる。

仕上げは「日本付近を通る等圧線」これは全部読みあげた。もちろんスロースロー。

その後、再び放送録音から書き取り。

無慈悲の速度平気の受講生は案の定おらず、スタッフが予め書きとったものを配布。テキストで等圧線の描き方を説明、按分なども教えられ、いよいよ等圧線を描く?!と思った受講生は焦った。どっこい、今回はいきなり描かせず講師が受講生を周囲に集め、まず実演。(写真右)



『放送された等圧線の位置を辿って滑らかにね、こんな風に。高気圧や低気圧の中心近くを通るときには中心とは逆方向にやや膨らませながら描くんや。』等と兵庫標準語で説明しながら描く、そして見せる。

次に、今しがた教えた「按分」を数か所でやって見せ、すいっと線を描く・・・完成させるかと思いきや情報のない場所でその先を描くの止(や)める。



不審顔の受講生を尻目にひょいと場所を変え大陸の高気圧、日本海の低気圧の周囲に描く、



「何でソチラに飛ぶん？」に、「描き易いやろ？中心をぐるりと囲むだけやし。」とまた標準語。

『高気圧の中心は大きく、低気圧は密集した等圧線を描く。』って講師が説明したよね？」と復習も兼ねて説明、その通り描く・・・席に戻った受講生、ここで自分で描く、そしてそれらしく描いた。

別の放送録音の再生、聞きとり、等圧線描き、毎回ポイントを白板で解（写真上）・・・この繰り返し。

予め用意のコピーが毎回なくなったという事は、案の定、誰も聞き取れていない、でも描く講座やからこれでエエ。

夕食、入浴を挟んで22時の放送を書きとり中に研修室から追い出されかけたが、井手口の「あと10分、お願い！」で無事終了。管理男は美人に弱い？！

一夜明け6:30から再び等圧線描き、朝食も早々に終え昼食まで休むことなく続いてやっと終了、ああしんど、これ講師の実感。

受講生の感想、「集中的に頭を使ったのは数十年ぶり。」「疲れた、よかった。」「描けた。」「描けたのが意外。」「本でさっぱりだったのが、聞いて腑に落ちた。」「天気図を初めて買ったのに描けた。」「各々何がしかの成果があったみたい？

そして（しめ）の内村県連事務局長、「講座は終わりますが、初日の実演を30枚の画像で再現した資料を希望者に配信致します、これを見ながらぜひ練習してください、要すれば補講もさせます。」と宣し、修了証を神妙に手渡して終了。最後に晴れ晴れ集合（写真下）



・機関誌部からのお願い

兵庫労山・機関誌は外部取引先に委託して印刷しております。丁寧な画像処理作業など実施して貰っておりますが、原稿提出から納品日における時間が十分ではない場合は添付の画像が全て掲載できない場合があります。ご理解ください。

六甲全山縦走を終えて

常任理事 長谷川 裕

3月9日（日）恵まれた天気のもと開催出来、皆様方のご協力が無事終えることができましたこと御礼申し上げます。全縦は兵庫労山最大のイベントとして、一般の登山者、ハイカーの方へのPRの絶好の機会ととらえ又労山会員の方の体力アップの機会として、今回参加目標（昨年は1000人に対し）は全縦だけで1000人をめざし、県連としては初めて約3500枚の参加ビラを県内はもとより京阪神の大半の登山ショップ、アウトドアショップ等や六甲山の登山口で配布するとともにマスコミ等への情報発信を積極的に行いました。結果全縦の伸びはそれほど大きくありませんでしたが、西コース、東コースの参加申し込みは大幅に増加し、全体で昨年度実績1001人に対して1144人と14.3%の増加を図ることが出来ました。全縦をお世話する側としては、塩尾寺下のゴールで日頃の鍛錬に加え当日早朝から頑張っって一日中高低差の大きい山々を歩き続け完走された参加者の方の達成感に満ち溢れた顔を拝見してお迎えするのが最大の喜びです。また途中勇気ある撤退をされたリタイアの方の来年度の参加を心待ちにしております。全縦実行委員会では毎年反省会等を通じて課題、問題点、要望の抽出に努め、改善を進

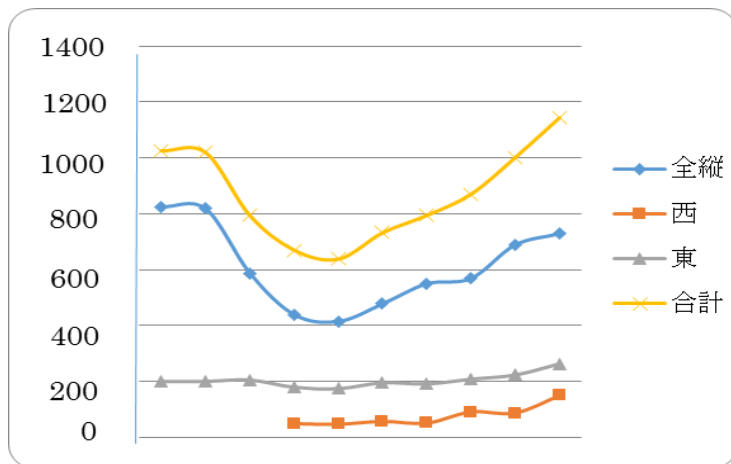


須磨浦公園 早朝からご苦労さまでした



「鍋蓋山」今年は渋滞発生

めておりますが、今回は皆様のご要望にお応えし6年ぶりに記念品としてスタッフバッグを復活するとともに、完走証のスリム化を図りました。今後大きな問題としては、毎年多くの参加いただいている一般登山者、ハイカーをどう会員拡大に結び付けていくのか、また会員の参加者の傾向としては最近入会された方が多い反面ベテランの会員の参加は減少傾向が続いており、中高年の方が健闘されている会がある中で、低調な会も散見されま



す。今後全縦委員会としては個々の課題についても可能なものは改善に努め、より多くの方に参加いただけるよう努力する所存ですので、全縦へのご理解をさらにいただき各会での取り組みにつきましても一層のご尽力をお願いする次第です。

左図 六甲縦走参加者推移



兵庫労山の仲間

摩耶山友会とはこんな会

摩耶山友会 会長 内村之衛

今年、2014年6月9日 摩耶山友会は創立40周年を迎えます。

神戸で、初めて設立された「神戸勤労者山岳会」のよき伝統を受け継ぎ、さらに多くの勤労者を初めとする一般市民の皆さんに登山を普及するために結成され、活動してきました。我々のモットーは、“とにかく山を楽しむ！安全にしかも安く！！”です。

活動の柱は、毎年開催している「夏山登山教室」です。従来、40名規模の募集をしていましたが、この数年は30名に絞り年齢上限も65歳と設けました。

何しろ、ほかの事は捨て置き注力しているのが実感です。3月に実行委員会を立ち上げ、5月初めの締切日まで、サポート講習会・宣伝活動。5～7月に座学：4回と実技講習：4



回+修了山行参加者向けトレーニング：4回。8月初めに修了山行：槍ヶ岳・奥穂・北岳を順に巡っています。9月の写真交換会で終了となりますが、実にまる半年間の実践となります。この間に、実行委員は前年の受講生が主となり「ご恩返し」を行い、多くの体験・習得を行います。班の組み方、リーダー選定、計画書の書き方、先輩とのやり取りと組織的な勉強も身につけてきます。このように「夏山教室」が会

の教育、訓練の源となっています。

毎年、受講生の中から10～15名の入会者がありその理由として「会のサポーターが親切で人間的にも信頼できるから」と言ってもらえ、苦勞が報われるのも実感です。

今年は第40回の「夏山教室」となります。神戸大震災の年に自粛し休んだ以外は創立当初から、休まず続けているのが誇りです。期の途中で入会される人も、次の「夏山教室」に参加してもらい、「岩登り教室」「初心雪山教室」と続き、翌年からは夏山教室とほぼ同一時期開催の「沢登り教室」と続きます。

この隙間をみて、「山行計画書・報告書の書き方」「ホームページ参画の仕方」「カシミールの使い方」など“パソコンに親しむ”教育も進めています。「総合山岳会」として県連から要求される種々教室の”講師“も数少なく、早急な育成が必要と感じ進めています。



013 修了山行：槍ヶ岳 →

まだ肌寒い早春の頃から、鈴蘭のような白い花を房状に垂れ下げて咲く風情は印象的である。花期は長く、5月初めまで続く。アセビは日本原産の常緑樹で日本各地の山地に自生する。比較的小形で新緑も美しく、雅趣に富んだ樹形など、盆栽にもよく、庭木としてことに茶庭には欠かせない一種となっている。馬酔木を一名、アセビ、アシビなどと呼び、各地に方言も多く150種類もの方言があるらしい。大和地方には多く、春日大社の西部にはアセビの純林がある。そのためか、万葉人の目にも早くとまったのであろう。『万葉集』には大和のシンボルとしての感情など、10首が詠まれている。馬酔木は「馬が中毒して酔っぱらう木」という意味で、アセビという呼び名は、「足しびれ」→「あしび」→「アセビ」と転訛したということだ。誰が、どこで、何のために「馬酔木」と名付けたのか？アセビは中国では珍しい植物で、かつて、中国黄河流域で栄えた大陸文化をもった人たちが、馬を携えて大和の国に移住してきた。中国ではアセビに全く接したことのなかった馬たちは、アセビが有毒であることを知らずに中毒死する馬が続出した。こんな苦い経験を通して、この植物が有毒だと目印になるような名前をつけることが必要であった。そこで、馬が食べると足がしびれる木を表現したのではないかというのである。中国でも「馬酔木」という字を使っているようだ。奈良公園はアセビの名所。鹿も有毒であることをしかと心得て食べずに残った。馬も鹿も「馬鹿」ではないのである（笑）。葉にはアセボトキシシンという有毒成分を含み食べると吐き気、下痢、めまいを起こす。毒は葉に転じ、煎汁を薄めて害虫駆除や牛馬の皮膚の寄生虫退治、昔は便槽に入れてウジ殺しに利用したというが、現代の人には解らないでしょうか？（笑）。もう何年も前のこと。一人では歩きまわらないほうがいいと云われていたのに「いい天気だから少し歩いてきます」と宿を出た。足に任せて高く低く、山中を歩く。箱根なんて大したことはないとかをくくっていたのである。朝は霧が深い。道しるべもなかったがそれも気にならず、五里霧中ってというのはこれかなアと呑気に構えて、足場が多少悪くなったのに気付いた時は、もと来た道が何となくわからなくなっていた。（どうしよう、どこに戻ればいいのか・・・と、あたりを見回すと緑も濃い、累々たる白い小花を綴っているアセビの木。アセビのトンネルが続いていた・・・。間もなく人声もして、私はそちらへ小走りに近寄っていき、こと無きを得たが、そのことを誰にも語ることはしなかった。言っではならぬことのように思えた。山や丘の道をたどれば、春の訪れを待ちわびたように、白くかたまって房を垂れる馬酔木の花に出会う。一つ一つの花は、小人のさげの提灯のようだ。雨のあと、この花房がぐっしり濡れて、若葉の風にけだるく揺れている風情も、私は好きだ。清楚で、そのくせほのかに色っぽく、初恋のやるせなさを語るようにも思える。馬が食べると酔うからこの名がつけられたというのが、馬の酔いごこちは、どんなものだろう。肩に翼が生えた天馬の気分なのかも♪？春日神社でたくさんの馬酔木を見た。小雨に濡れながらさすらう鹿たちに馬酔木の花はよく似合っていた。



2014. 3. 15 アセビ



—— 閲覧室 ——

大村富栄（神戸ハム&HC）

「明昭」No. 431 14年 3月号（西宮明昭山の会）

月に850部は印刷するという西宮明昭山の会の3月号。表紙の画像は「比良・御殿場山」白黒と思えないくらいキレイに表現されています。また月々の例会開催の多さは兵庫労山でもダントツに多い。全く羨ましい限りです。

そして今回目をひいたのは「明昭ジャーナル」。例会申込みの説明に始まって、自然交流、囲碁大会、そして5月「伊吹山の入山料発生のご案内などなど。会員に留まらず、部外者も楽しんで役に立つ内容づくりは大変勉強になります。わが兵庫労山機関誌部もかくあるべきと努めねば。



「多紀アルプス」No. 48 14年3月号（山の会ささやま）

今年の1月25日に神戸ハム&HCと合同でCLの藤井さんにお連れ頂いた例会が掲載されているはず！と早速頂いた機関誌を拝見。「あ！載っていました！」会員の津曲さんが私と弊会会員の参加に記載してくれていました。機関誌って不思議ですね、自分に何ら関係したことが書いていると知ると必ず目を通す。「山の会ささやま」の幻想的なレタリングに見とれ、A4のサイズと思えないくらい力作の原稿たちは、なぜか読む人を疲れさせない。作成者の愛情と気遣いが溢れる機関誌です。

「兵庫労山」No. 410 14年3月号（兵庫県勤労者山岳連盟）

本誌P11の「西日本女性担当者交流集会・沖縄」の原稿は大変興味深く、作業の特性上幾度も読み返しました。特筆すべきはP12の夜の交流集会です。「素晴らしい交流集会の御礼の気持ちを表すには踊ることでしょう」と、サンシンの旋律に合わせて「兵庫も思わず踊り出た！♪」と。「我も我もと踊りの輪が・・・」私はその場にいませんでしたが、たったこれだけの活字で現場が見えるように表現されており、人と人との関わり合いの素晴らしさを再認識させて貰える内容に仕上がっています。

「登山時報」No. 470 14年4月号（日本勤労者山岳連盟）

会報「えつらん室」（P40）からご紹介します。

目白山岳会『山脈』。機関誌は2013年12月号です。

「右の表紙は初冬の大峰山脈・弥山の版画。本文は9月から12月初めまでの山行報告が15本。その山行報告の中に沢登りが2本あった。2本ともに、草つきの高巻きやトラバース、思ってもみなかった自然の大きさ、下りに蜂にまわりつかれたり、入渓点が不明で、相棒が積んだケルンに助けられたりと臨場感があって、大変面白かった（ひとごとだから）。キノコ狩り合宿は定例のようで、たくさんとれたキノコを囲んでの写真も満足感が出ていた。」



編集後記

▼「散る桜 残る桜も 散る桜」会報〈たるみ〉のこの言葉を思い出した。早いもので四月は機関誌部の故阿部さんの一周忌。四百四病は生まれながらにして人の身にそなわるといふが、事故で仲間に助けられた私の命も限られた命。春よ！田圃の畔を歩くとホトケグサやナズナ、オオイヌフグリが見られる。雑草の命もたくましく春を迎える（大向）▼新田次郎著「八甲田山死の彷徨」を読みました。明治35年1月23日から25日にかけて青森第5連隊が厳冬の八甲田山で、210名中199名が死亡する最大の山岳事故です。1月25日は旭川で零下41度の最低気温を記録して、未だ破られていません。高倉健主演の映画を観た人も多いと思います。終章で「日露戦争を前にして軍首脳部が考え出した、寒冷地における人間実験がこの悲参事を生み出した最大の原因であった」とあります。考えさせられる本です（河尻）▼税務署に確定申告に行き、医療費控除など節税でささやかな還付が出来た。年金が3年にわたって2.5%削減。一方4月からは消費税が8%に。復興特別所得税が昨年から2.1%これが25年間続く。被災地の皆さんに役立てて欲しい。しかし大企業は復興特別法人税が3年間のみ、それも2年間に短縮。年金生活に入ってその厳しい生活と矛盾に怒りを覚える。今の高度成長を支えてきた高齢者を若者と対立させるのでなく身分保障と賃上げで景気回復を。山仲間達も山に登り健康と消費税に繋がる（野津）▼全縦のとき、他会の方とPDFでの機関誌配信について話をした。なにかとメールなど電子媒体でのコミュニケーションの影に隠れて顔と顔を突き合せた直接のやりとりがなくなり、一次情報の衰退を危惧しているという私の意見に対して、賛同は得たものの、「なにぶん制作費、郵送費がいらぬ等」のお返事。ただそれをフォローするものが必要とも（田中）▼所属会と交流のある山陽カルチャーマウンテンクラブの大山での遭難事故の報にふれ、心が痛む。原因を究明し元気ある再出発できるように心より祈っている（楠）▼今年も春を迎えられた喜びを噛みしめています。ただ花粉アレルギーがひどく、まるで「浮かれてばかりいないでね」と戒められているよう。取りあえずはものは考えようだと良い方にとりましょう（大村）

兵庫労山の原稿書式（ワード）

原稿サイズ：B5 1項：40行 1行：40字
字体：明朝体 10.5ポイント 余白：上下左右 各20mm

兵庫労山 No.411

発行日 2014年4月1日 発行 兵庫県勤労者山岳連盟
〒651-0095 神戸市中央区旭通3丁目4-12 郵便振替 01150-1-27951
TEL 078-222-2463 FAX 078-222-2109
HP <http://www.nextftp.com/hyogo-rouzan/>
E-mail hyogo-waf@d4.dion.ne.jp
発行責任者 門脇 道成
編集責任者 河尻 重和 神戸市西区学園都市東町5-1-414-105
E-mail kawa-san@nifty.com
携帯電話 090-3355-9918